

金融市場NOW

足元の原油価格は堅調に推移

OPECプラスによる協調減産と、世界景気の回復期待から原油価格も回復基調

- ▶ 4月中旬にマイナスを記録したWTI原油先物価格はOPECプラスによる協調減産や各国において外出制限等の措置が緩和されたことを背景に、大きく値を戻す。
- ▶ OPECプラスによる協調減産継続を市場は好感。
- ▶ 米国のシェールオイル生産量の減少も原油価格上昇要因。

～一時マイナスを記録した原油価格は値を戻す～

● WTI原油価格は供給過剰や保管場所が不足するとの懸念から、4月20日に史上初のマイナスを記録しました。OPEC（石油輸出国機構）と非OPECの主要産油国で構成されるOPECプラスにおいて、大規模な協調減産の延長が合意されたこと、さらに欧米諸国において新型コロナウイルス感染拡大防止措置等が解除されつつあり、経済活動が正常化するとの期待感から、原油価格は足元では一時1バレル当たり40ドルを超え、3月のOPECプラスの減産交渉決裂時の水準まで値を戻しています（図表1）。

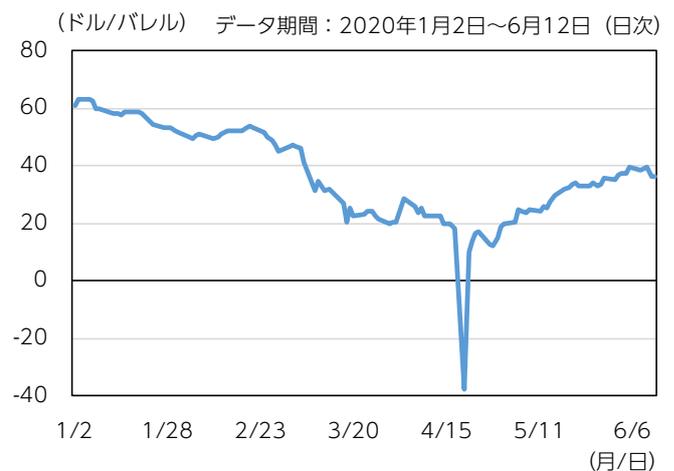
～OPECプラスの協調減産が続く～

● 4月のOPECプラスにおいて、5月と6月の生産量はトータル日量970万バレルの減産（2018年10月の生産量が基準、サウジアラビアとロシアの基準は日量1,100万バレル）が決定されました。サウジアラビアは6月の生産量を日量750万バレルとし、OPECプラスで合意した生産目標（日量850万バレル）から、さらに日量100万バレル自発的に引き下げました。回復し始めた世界の原油相場を支えるために、同国の生産量としては約18年ぶりの低水準に抑えたと言われています。なお、6月6日開催のOPECプラスのビデオ会合では、当初6月までとされていた日量970万バレルの協調減産を7月末まで1ヶ月延長することが合意されました。

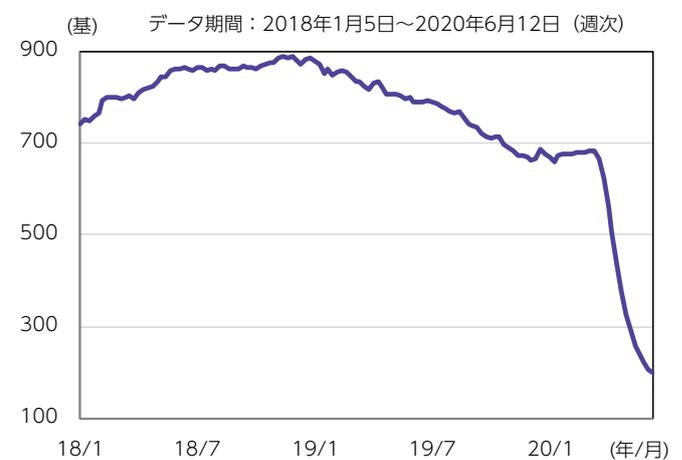
～経済活動再開による景気回復期待は原油高要因～

● 各国において外出制限等の措置が徐々に緩和されており、景気回復期待が高まっています。足元公表されている各国の経済指標は米国の雇用統計をはじめとして、景気回復の予兆を示すものが増えてきているように思われます。経済活動再開を受けて感染第2波のリスクが懸念されるものの、今後も景気回復を示す指標が増加すれば、原油価格は底堅く推移するものと思われます。

図表1：WTI原油先物価格の推移



図表2：米国掘削リグ稼働数の推移



～米国産原油の減産も価格上昇要因～

● 世界最大の産油国である米国の原油生産の中心であるシェールオイルの採算ラインは1バレル40～50ドル程度と言われています。原油価格下落局面では採算が取れなくなるため、稼働する掘削リグ（地下に眠る石油・天然ガス採取用の井戸を掘る装置）が減少し（図表2）、原油生産量も減少が見込まれます。米国産原油の減産は需給バランスを改善させる要因の一つと考えられます。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>